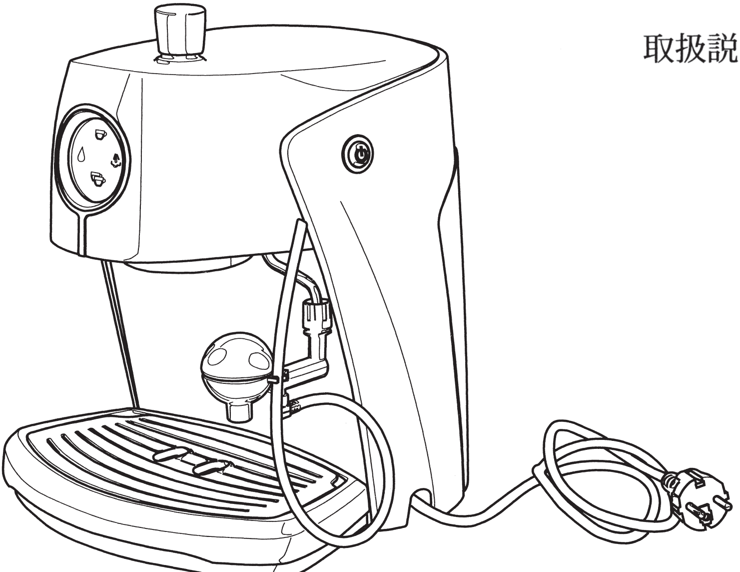
nina plus

Bar

取扱説明書



本製品を使用する前に、付属の取扱説明書をお読みください。
また、安全上のご注意を必ずお読みください。

PHILIPS
Saeco

1　一般的な情報

本製品は1杯または2杯のエスプレッソコーヒー抽出、またミルクを泡立てるためのスチームや給湯を供給するための製品です。 製品正面のコントロールパネルは分かりやすいマークによって表示しています。
ご家庭でのご使用のためにデザインされています。業務用製品として連続使用することには適しておりません。

警告！ 以下に記載した原因による損傷については、保証は適用されません。
- 本来の目的に反したご使用による場合。
- 修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合。
- 電源コードを改ざんされた場合。
- 本製品のどこかを改ざんされた場合。
- オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合。
- 除石灰作業を行わなかった場合や、0℃以下の環境で使用、もしくは保管された場合。

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。

1.1　安全上のご注意

三角形を用いたマークはお使いになる方の安全のために重要な情報を示しています。お客様の被害や損害を防ぐために、必ず従ってください。

マシンの一部やコントロールパネルなどのイラストを本取扱説明書の最初のページに記載しています。説明書本文に数字が記載されている場合は、その数字のイラストを参照してください。

このマークは本製品のよりよいご使用のために、弊社が推奨する重要な情報を記載しています。

1.2　本取扱説明書のご使用方法

本取扱説明書は、すぐに取り出せるところに保管し、本製品をご使用になる全ての方がご覧になれるようにしておいてください。
また、ご不明な点はサエコサービスセンター（TEL：050-5525-7025）までご連絡ください。

2　安全規定

電源プラグを水に浸さないでください。回線がショートする恐れがあります。
スチームとお湯の使用はヤケドをする恐れがあります。身体に向けてスチーム給湯ノズルを向けないでください。スチーム・給湯ノズルは十分ご注意の上、ご使用ください。

使用目的

本製品は日本国内のみで使用してください。
改造をしたり、不法な目的のためにマシンを使わないでください。

電源

本製品は「15A　125V」と記された壁面のコンセントから直接お取りください。 また電源は交流 100V をご使用ください。

電源コード

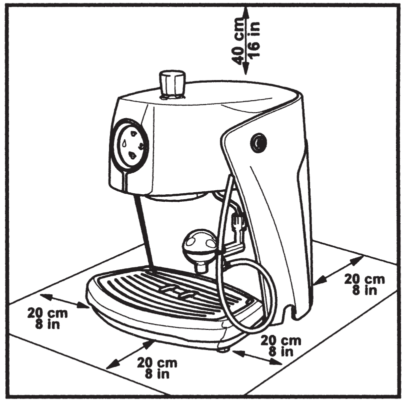
電源コードに損傷がある場合は本製品を使用しないでください。 万が一、損傷した場合はサエコサービスセンターへご連絡の上、新しいものをご購入ください。
電源コードは、鋭角な角や何か尖ったものに当たらないように、また熱源や油の近くでは使用しないでください。
電源プラグを抜くときはコードを持たずにプラグを持って引き抜いてください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込んでください。濡れた手では決して行わないでください。感電の恐れがあります。
電源コードをテーブルまたは棚から垂らすことのないようにしてください。
電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取ってください。
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
万一、異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

子供の使用

子供など、取扱いに慣れていない人だけで使用したり、乳幼児などの手の届くところで使用しないでください。

ヤケドの危険

スチーム・給湯ノズルの噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。
向きを変えるときは、黒いプラスチック部分を持ち操作してください。
コーヒー抽出中にフィルターホルダーを外さないでください。抽出圧でお湯が噴出し、ヤケドの原因となります。



図A

設置場所

本製品は平らで安定した場所、誰も倒す心配のない場所に置いてください。
0℃以下の場所に保管をしないでください。製品内部に残っている水が凍結し、破損する恐れがあります。
屋外では使用しないでください。
高温ガス、電気コンロの上やその付近、熱したオーブンなどの近くには置かないでください。

クリーニング

クリーニングの前には、必ず電源を切り、プラグを抜き、本製品を冷ましてから行ってください。
本製品を水に浸けたり、水をかけないようにしてください。
分解・改造は絶対にしないでください。
水タンクに数日間溜まった水は使用しないでください。ご使用後は毎日水 タンクを洗って乾かし、使用する日ごとに新鮮な飲料水を入れてください。

設置スペース

本製品が適切に効率的に作動するために、以下の記載に従ってください。
- 平らな場所を選んで置いてください。
- 万が一の場合に、すぐにコンセントから電源コードをいつでも抜ける、埃が溜まりにくい場所に置いてください。
- 図 A の記載のとおり、マシンの側面・背面からスペースをお取りください。

マシンの保管

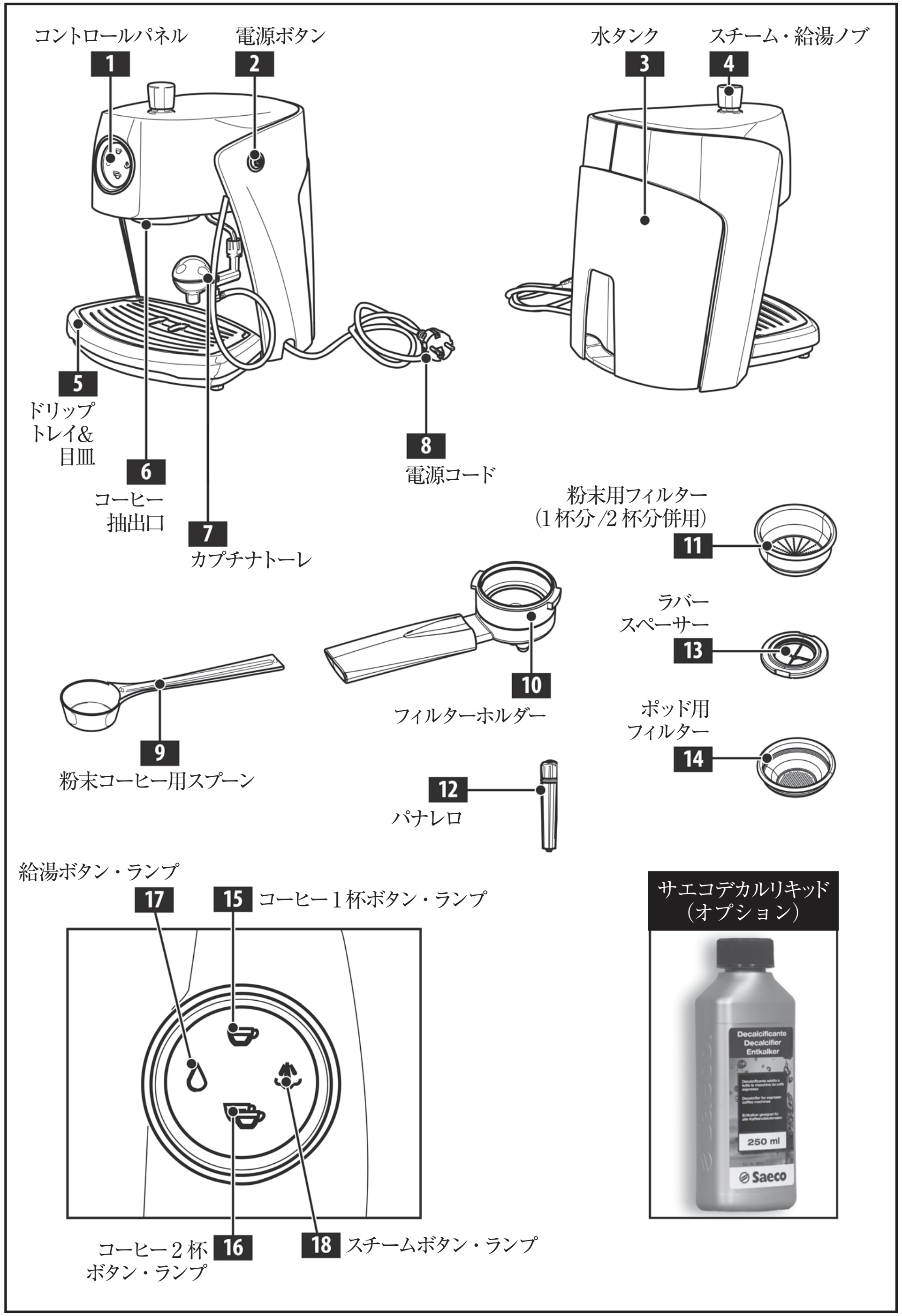
長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。
外した電源コードは塵や埃から保護した上で、子供の手の届かない乾燥した場所で保管してください。

修理／メンテナンス

故障や破損、または落下後に破損が予想される場合は直ちに電源プラグを外してください。故障した製品は絶対に使用しないでください。
また修理はサエコサービスセンターにて承ります。それ以外で修理が行われた場合、いかなる不具合が起きても弊社は損害賠償には一切応じません。

火災の場合

万が一、火災が起きた場合には二酸化炭素（CO_2）消火器をご使用ください。水や粉末の消火器を使用しないでください。



3 仕様

電源	100V 50 ／ 60Hz
マシンボディ素材	プラスチック
サイズ(幅×高さ× 奥行き)	270 × 350 ×300mm
重量	4 kg
電源コードの長さ	1.2 m
コントロールパネル	正面
フィルターホルダー	加圧型（自動泡立てバルブ機能）
水タンク	1.5 リットル - 取り外し可能
ポンプ圧	15 気圧（抽出時は 9 気圧）
ボイラー	ステンレススチール
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット

本製品は家庭向けです。
意匠、仕様および性能の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

4 設置

ご使用になる方と他の方々の安全のために、項目 2 に記載している「安全規程」に従ってください。

4.1 梱包

オリジナルの梱包資材は、輸送の最中に製品を保護するために制作しています。修理依頼などのために梱包資材を保管しておくことをお勧めします。

4.2 設置の手順

本製品を設置する前に、下記の安全に関する取扱説明をよくお読みください。
・マシンを安全な場所に置いてください。

・子供が本製品で遊ぶことのないようにご注意ください。

・マシンを熱源、または火の近くに置かないでください。

製品を電源と接続する準備が整いました。

i 注意：初めて使用する場合や一定期間使用されなかった場合は各部品を洗浄してからご使用ください。

4.3 製品の接続

⚠ 電力使用は危険を伴います。安全規則に従ってください。
損傷した電源コードは絶対に使用しないでください。
万が一、損傷した場合は速やかにサエコサービスセンターで取り替えてください。

本製品と電源コードと接続する前に、電源ボタンが必ず OFF であることを確認してください。
電源ボタンが飛び出た状態が OFF となります。

・電源は「15A　125V」と記載(刻印)されている壁面のコンセントから直接お取りください

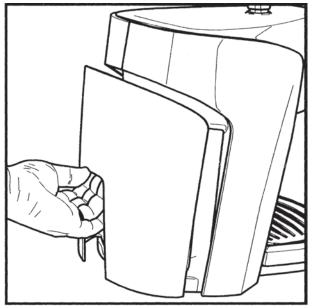


図1

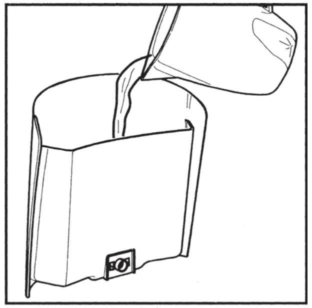


図2

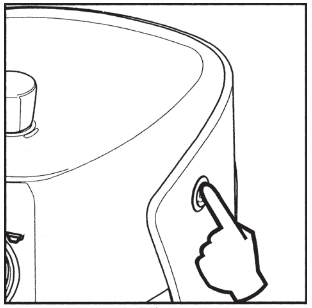


図3

4.4　水タンク

・(図 1) －水タンク(3)を取り外してください。

・(図 2) －水タンクをすすぎ、新鮮な飲料水を入れます。MAX のライン以上に水を入れないでください。

・(図 1) －元の場所にセットし、水タンク背面の下あたりをグッと押し込むようにセットしてください。

水タンクには新鮮な飲料水を入れてください(発泡水は入れないでください)。お湯など、その他の液体は決して入れないでください。また水タンクが空の状態で製品の電源を入れないでください。水タンクの中に十分な水があるのを確認してください。

4.5　空気抜き

初めての使用、または、2 週間以上マシンを使用しなかった場合、必ず空気抜き作業をしてください。スチームを使用した後に、製品を再始動させるために空気抜き作業をしてください。

・(図 3) －電源ボタン(2)を押してください。製品が空気抜きが必要な場合、コントロールパネルにある 4 つのボタンが点滅を始めます。

・(図 4)－カプチナトーレの下に容器を置きます。

・(図 5) －スチーム・給湯ノブ(4)を左に回してノブを開いてください。

・(図 6)－給湯ボタン(17)を押します。水の排出が自動停止するまでお待ちください。停止したら、スチーム・給湯ノブ(4)を右に回してノブを閉じてください。

空気抜き作業中に、ポンプ内部が空になって大きな音がすることがありますが、故障ではありません。ポンプ内部に水が入った時点で大きな音はなくなり、水が出始めます。(約 30 秒～ 60 秒)

電源を入れた後、２つのコーヒーボタンが点滅した場合、スチーム、給湯ノブを開き、お湯ボタンを押し100ccほど水を出した後、再度お湯ボタンを押してスチーム、給湯ノブを閉じてください。2 つのコーヒーボタンが点滅した場合の空気抜き作業となります。

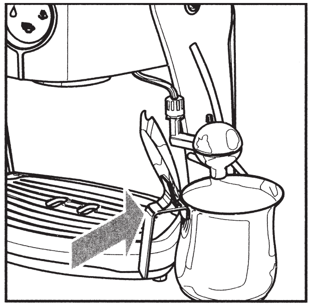


図4

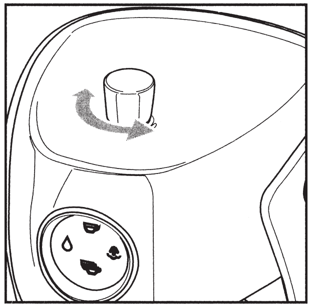


図5

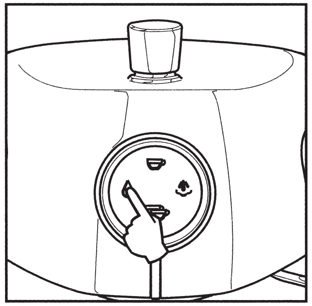


図6

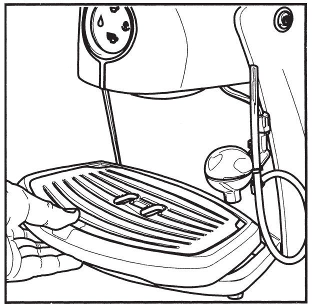


図 1

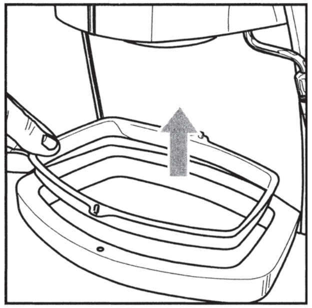


図 2

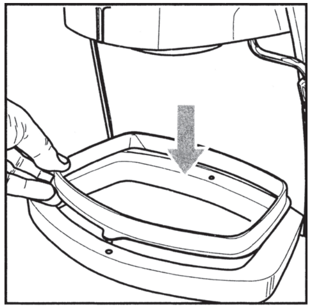


図 3

最初の空気抜き作業がおわった後に、製品はウォーミングアップを始めます。コーヒー、水、もしくはスチームを使用する前に 2 つのコーヒーボタン(15)と(16)が点灯するまで、お待ちください。
コーヒーを出す準備が完了しました。続けてコーヒー抽出など、関連した項目をご覧ください。

注意：空気抜き作業が完全に終了しなかった場合、4 つのボタンは点灯し続け、製品を使用することができません。その場合は項目 4.4 水タンクのセットからやり直してください。

4.7　ドリップトレイの高さ調節

ドリップトレイはカップのサイズによって高さを調整することができます。ドリップトレイの高さ調整をするためには、次の通り行ってください。

・(図 1) －ドリップトレイと目皿を取り外します。

・(図 2) －土台より、ドリップトレイのサポートを取り外します。

・(図 3 - 4) －サポートをひっくり返し、土台に差し込みます。

・(図 5) －ドリップトレイをサポートの上に置き、目皿を乗せてください。

5　コーヒー抽出

警告！ コーヒー抽出中にフィルターホルダーを左に回さないでください。脱落してヤケドをする恐れがあります。

・コーヒー抽出中に、コーヒー温度ランプ(15)は点滅することがあります。これは故障ではなく正常な状態です。
・使用する前にスチーム・給湯ノブ(4)が閉まっており、水タンクの中に十分な水があることを確認してください。
・２つのコーヒーランプが常に点灯しているか確認してください。点灯したら準備完了です。

注意:長時間、電源を入れた状態で放置しないでください。過熱防止機能が作動し、自動的に電源が切れます。電源が自動的に切れた場合は、すぐに電源は入りません。30 分以上冷ましてから電源を入れ直してください。

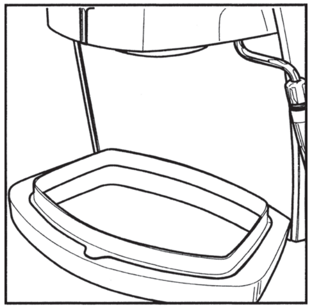


図 4

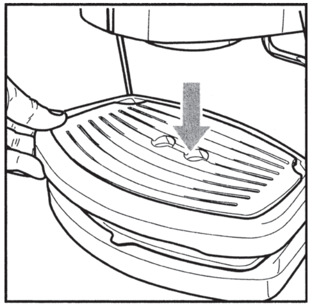


図 5

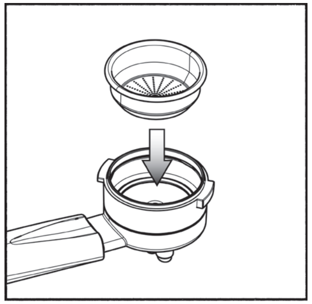


図 1

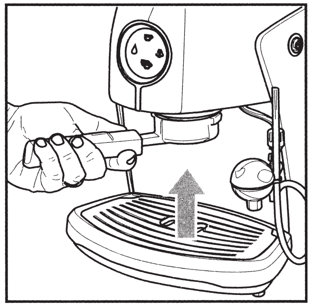


図 2

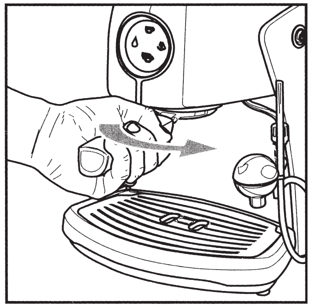


図 3

5.1　粉末コーヒーから抽出する

・(図 1) – 粉末用フィルター(11) をフィルターホルダー(10) にセットします。(購入時にはセットされています。)
・(図 2) – コーヒー抽出口(6) にフィルターホルダーを左斜め 45 度からセットしてください。
・(図 3) – フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ正面にきます)
・(図 4) – 少量の水がフィルターホルダーから出てくるまで、コーヒーボタン(15) を押してください。フィルターホルダーを温めます。最初にコーヒーを抽出する際には、フィルターホルダーを温めて使用してください。
・お湯の抽出は自動的に止まります。
・(図 5) – フィルターホルダーを右から左に回して、マシンから外してください。そしてフィルターホルダーに残った水を捨てます。コーヒー抽出のために、粉末用フィルター(11) を交換する必要はありません。
・(図 6A) – 1杯のエスプレッソの抽出には付属の粉末コーヒー用スプーンですりきり1杯～1.5杯、2杯のエスプレッソの抽出にはすりきり2杯分の粉末コーヒーを入れます。フィルターの淵についたコーヒーは綺麗に拭き取ってください。
・(図 2) – コーヒー抽出口へフィルターホルダー (10) をはめてください。
・(図 3) – フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ正面にきます)
・(図 7) – あらかじめ、温めておいたカップをフィルターホルダーの下に置きます。カップが抽出穴の下に正しく置かれていることを確認してください。
・(図 4) – コーヒーボタンを押します。
　– 1杯抽出するとき：コーヒー1杯ボタン(15)
　– 2杯抽出するとき：コーヒー2杯ボタン(16)
・コーヒーはあらかじめ設定された量が抽出されると自動的に止まります。コーヒーカップを外します。(図 8)。
・(図 5) – フィルターホルダーを左に回して取り外し、コーヒーカスを空にしてください。

i 注意　コーヒー抽出後、フィルターホルダー内に少量の水が溜まっている場合がありますが、不良ではありません。製品の性能となっています。カスを捨てた後のフィルターホルダー、粉末用フィルターを飲料水、またはお湯でコーヒー粉をきれいに洗い流してください。

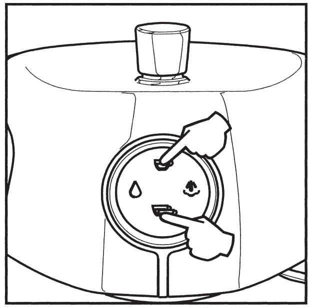


図 4

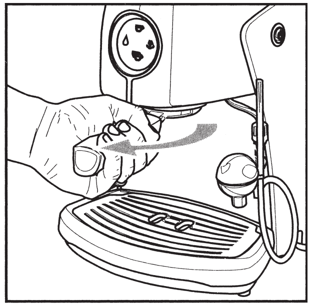


図 5

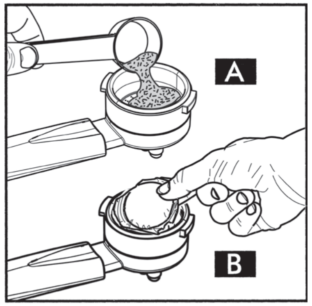


図 6

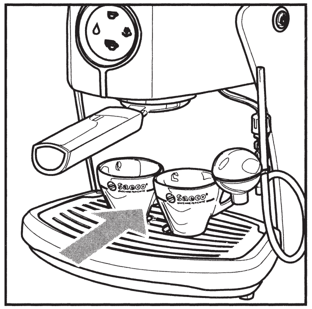


図 7

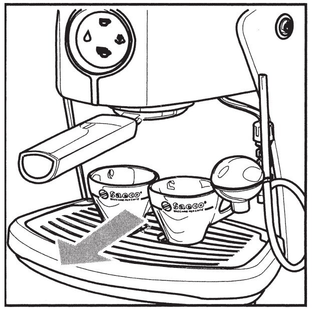


図 8

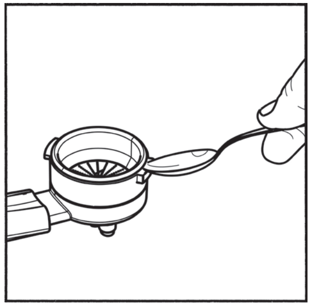


図 9

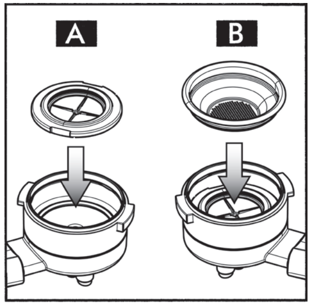


図 10

5.2　ポッドコーヒーから抽出する

・(図 9) – スプーンなどを使って、フィルターホルダー(10) の中の粉末用フィルターを取り外します。
・(図 10A) – ラバースペーサー (13) をフィルターホルダー (10) にセットします。
・(図 10B) – ポッド用のフィルター(14) をフィルターホルダー(10) にセットします。
・(図 2) – 抽出口(6)へフィルターホルダーをはめてください。
・(図 3) – フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ正面にきます)
・(図 4) – 少量の水がフィルターホルダーから出てくるまで、コーヒーボタン(15) を押してください。フィルターホルダーを温めます。最初にコーヒー抽出する際には、フィルターホルダーを温めて使用してください。
・お湯の抽出は自動的に止まります。
・(図 5) – フィルターホルダーを右から左に回して、マシンから外してください。そしてフィルターホルダーに残った水を捨てます。ポッド用フィルター (14) を交換する必要はありません。
・(図 6B) – ポッドコーヒーをフィルターホルダーに置き、ポッドコーヒーの紙がフィルター内にきちんと収まっていることを確認してください。
・(図 2) – 抽出口(6)へフィルターホルダー(10) をはめてください。
・(図 3) – フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ正面にきます)
・あらかじめ温めておいた1つのカップをフィルターホルダーの下へ置きます。それが抽出穴の下に正しく置かれていることを確認してください。
・(図 4) – コーヒー1杯ボタン(15) を押します。
・コーヒーはあらかじめ設定された量が抽出されると自動的に止まります。コーヒーカップを外します。(図 8)。
・(図 5) – 抽出し終わってから数秒待って、フィルターホルダーを左に回して取り外し、使用済のポッドコーヒーを捨ててください。

5.3　コーヒー抽出量の設定

・コーヒー抽出量はコーヒー1杯ボタン(15) より最低量 25cc ～最大量 180cc の間で設定します。
・コーヒー抽出量を設定するために、項目 5.1 と 5.2 の記載のとおり、コーヒーを抽出する準備をします。
・製品へセットされたフィルターホルダーの下にカップを置きます。
・コーヒー1杯ボタン(15) を押し続けてください。3秒後コーヒーの抽出が始まります。コーヒー1杯ボタン(15) は押し続けてください。
・お好みの量のコーヒーが抽出されたら、コーヒー1杯ボタン(15) から指を離して下さい。

コーヒー抽出量の設定が終わりました。次回から設定されたコーヒー抽出量を抽出します。
コーヒー2杯ボタン(16) のコーヒー抽出量は、コーヒー1杯ボタン(15) のカップに落ちたコーヒー設定量の2倍のコーヒー抽出量を自動的に抽出します。
コーヒー2杯ボタン(16) の単独でのコーヒー抽出量の設定はできません。

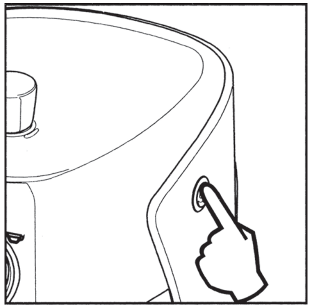


図 1

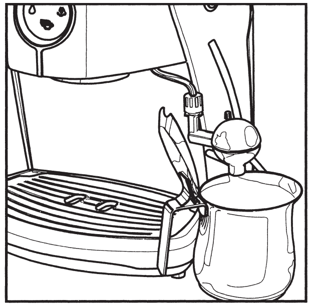


図 2

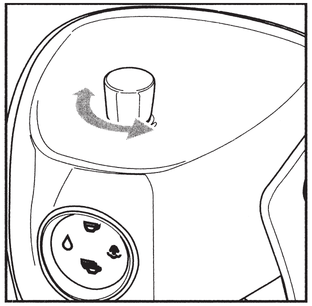


図 3

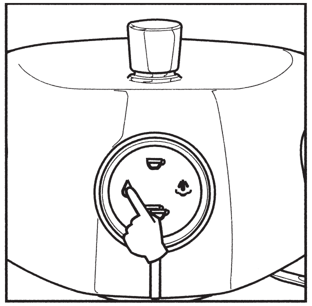


図 4

6　コーヒーを選ぶために

本製品は一般に入手可能な様々なコーヒーを使用することが可能です。コーヒーは生産地やブレンドによって風味の変化があります。より、お客様好みの風味を見つけていただくために、様々なコーヒーを試されることをお勧めします。
但し、一般的にはエスプレッソマシン用のブレンドが最適です。コーヒーはフィルターホルダーの上から漏れることなく、抽出穴から抽出しなければなりません。抽出のスピードはコーヒー量や挽き粗さを変えることによって修正することができます。
Saeco はおいしいコーヒーのために、また、より簡単な抽出準備とクリーニングのために、ESE(Easy Serving Espresso)とマークされたコーヒーポッドのご利用をお勧めいたします。

7　給湯

スチーム・給湯ノズル(パナレロ)を使用する前に、ノズルの先がドリップトレイに向いていることを確認してください。
スチーム・給湯ノズルからお湯が出始めるときに、少量のお湯が噴出することがあります。ノズルの近くに手や顔を置かないでください。ヤケドの原因になります。

- (図 1) – 電源ボタン(2)を押します。
- 2つのコーヒーボタン(15 - 16)が点灯するまで、お待ちください。
- (図 2) – カプチナトーレ(7)の下に容器またはコーヒーカップを置きます。
- (図 3) – スチーム・給湯ノブ(4)を左に回して開いてください。
- (図 4) – 給湯ボタン (17) を押します。お好みの量のお湯がでたら、もう一度給湯ボタン(17)を押して給湯を止めます。
- (図 3) – スチーム・給湯ノブ(4)を右に回して閉めます。
- お湯の入った容器もしくはカップを外します。

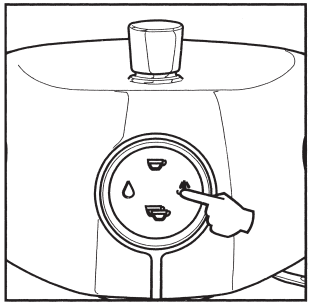


図 1

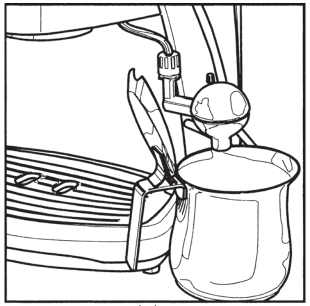


図 2

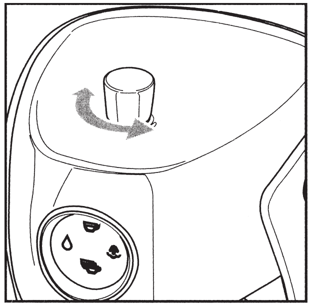


図 3

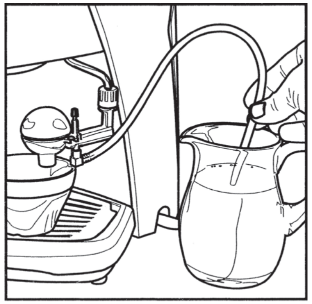


図 4

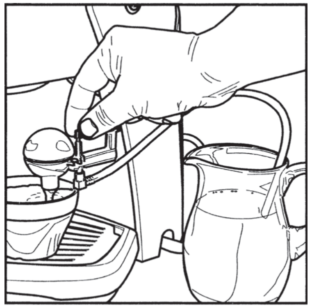


図 5

8　カプチナトーレ

カプチナトーレがあれば簡単に早く、おいしいカプチーノを作ることができます。
- (図 1) – スチームボタンを押します。スチームボタンが点灯するまでお待ちください。(約 60 秒)
- (図 2) – カプチナトーレの下に容器を置きます。
- (図 3) – スチーム・給湯ノブ(4)を左に回し、スチームを噴出させてください。マシン内部に残っている水分をカプチナトーレから出します。スチームが安定して出てきたらスチーム・給湯ノブ(4)を右に回し閉じて、容器を取り外してください。

これで、フォームドミルクを出す準備ができました。

- (図 4) – 十分に冷えたミルクを入れた容器を準備し、ミルクチューブを液面に深く差し込んで下さい。カプチナトーレの下にカップを置きます。
- (図 3) – スチーム・給湯ノブ(4)を左に回し、スチームを噴出させてください。
- (図 5) – ミルクの泡立ちを調整する為に、泡立ち調整ピンを回しながら、上下に動かして下さい。泡立ち調整ピンはゆっくり動かした方が効果的です。
- (図 3) – お好みの量になったらスチーム・給湯ノブ(4)を右に回し閉じてください。ミルクフォームの入ったカップを外します。

カプチナトーレを使用した後、新鮮な飲料水が入った容器の中にミルクチューブを差し込み、スチームを噴出させてください。きれいな水が排出されたらスチームを止めて、湿らせた布巾でミルクチューブをの外側をきれいに拭いて下さい。

引き続きコーヒーを抽出する場合は、ボイラー内部のスチームをお湯に置換する作業を行って下さい。

- (図 1) – スチームボタンを押しスチームモードを解除します。6 ページの空気抜き作業を行い、マシン内部のボイラーに溜まったスチームをお湯に置換します。

1 回のスチームの連続使用は 60 秒程度を目安としてください。スチームモードで長時間放置すると、過熱防止機能が作動し電源が自動的に切れます。30 分以上冷ましてから電源を入れ直してください。

9 パナレロ

標準で付属されているパナレロでミルクや他の飲料を温めることができます。

・(図 1-2)−パナレロを装着するには､カプチナトーレを外します。上部の黒いネジを緩めてノズルよりカプチナトーレを抜き取ってください。
・(図３)−パナレロの上部の黒いネジを緩め、ノズルへ奥まで挿入し、黒いネジを締めて下さい。
・(図４)−スチームボタンを押します。スチームボタンが点灯するまでお待ちください。(約 60 秒)
・パナレロの下に容器を置き、スチーム･給湯ノブ(4)を左に回し、スチームを噴出させてください。マシン内部に残っている水分をカプチナトーレから出します。スチームが安定して出てきたらスチーム・給湯ノブ(4)を右に回し閉じて容器を取り外して下さい。

これでミルクや他の飲み物を温める準備ができました。

・(図５)−ミルクや温めたい飲み物を入れたカップを準備し、パナレロに挿入します。
・(図６)ースチーム・給湯ノブ(4)を左に回し、スチームを噴出させてください。スチームが噴出されるので、カップを回すように中の飲み物を温めて下さい。ミルクや飲み物が温まったら、スチーム・給湯ノブを右に回し閉じてください。
・使用後は、水で湿らせた布巾でパナレロの外側をきれいに拭いて下さい。

引き続きコーヒーを抽出する場合は、ボイラー内部のスチームをお湯に置換する作業を行って下さい。

・(図１)−スチームボタンを押しスチームモードを解除します。６ページの空気抜き作業を行い、マシン内部のボイラーに溜まったスチームをお湯に置換します。

⚠ スチームが勢いよく噴射されますので、パナレロの近くに手や顔を置かないでください。ヤケドの原因になります。

i １回のスチームの連続使用は 60 秒程度を目安としてください。スチームモードで長時間放置すると、過熱防止機能が作動し電源が自動的に切れます。30 分以上冷ましてから電源を入れ直してください。

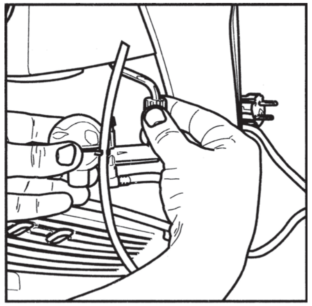


図１

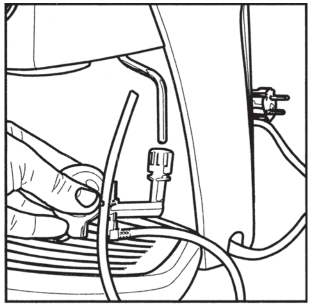


図２

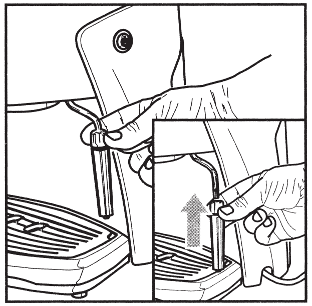


図３

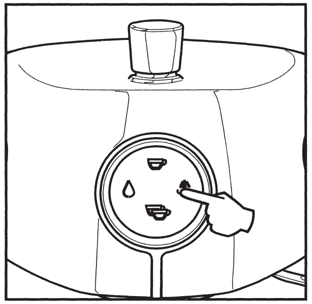


図４

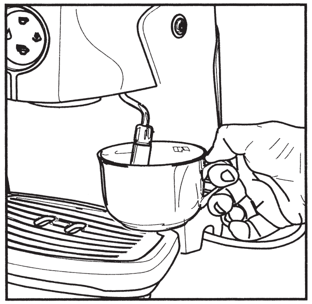


図５

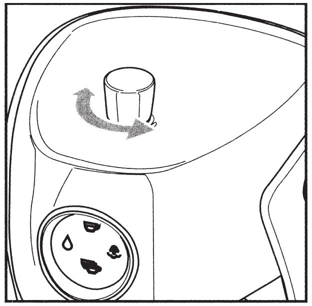


図６

10 クリーニング

i クリーニングを行う場合は、必ず電源プラグを抜き、マシンが冷えた状態で行って下さい。
マシンを水に浸したり、フィルターホルダーや各部品を食器洗浄器では決して洗浄しないでください。破損の恐れがあります。
アルコールや漂白剤など塩素が入った洗剤は使用しないでください。
水タンクは毎日水洗いをして乾燥させ、使用するごとに新鮮な飲料水を入れて使用して下さい。
ミルクを使用した場合は、必ず一日の終わりに分解し洗浄してください。ミルクの脂肪分が固着し故障の原因となります。
電子レンジやオーブンなどで乾燥させないでください。変形や故障の原因になります。

・(図１)−上部の黒いネジを緩めてノズルよりカプチナトーレを抜き取ってください。
・(図２)−カプチナトーレのフタ(シルバー)を取外してください。
・(図３)−新鮮な水で洗浄してください。
・(図４- ５)−パナレロを使用した場合も同じように取外し新鮮な水で洗浄してください。
・湿らせた布巾でノズルの外側を拭き取り、ミルクの脂肪分を取り除いてください。
・(図６)−使用後はドリップトレイを空にして、水洗いをしてください。
・(図７)−粉、ポッド用フィルターをスプーンなどを使って取外し、ぬるま湯で洗浄してください。
・(図８)−フィルターホルダーの内側をよく洗ってください。

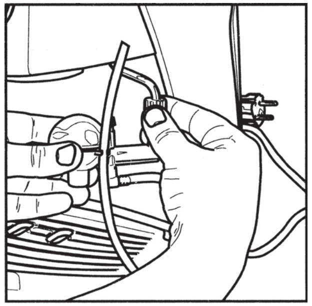


図１

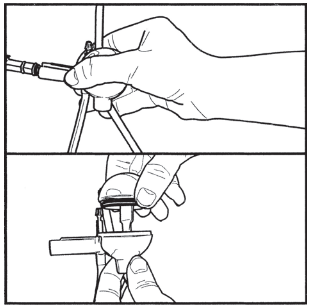


図２

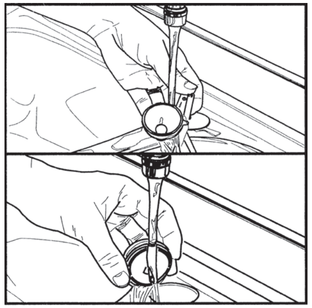


図３

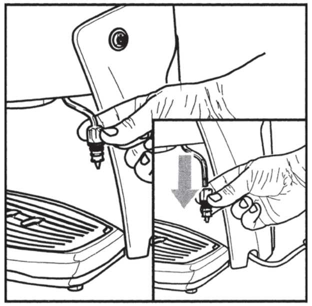


図４

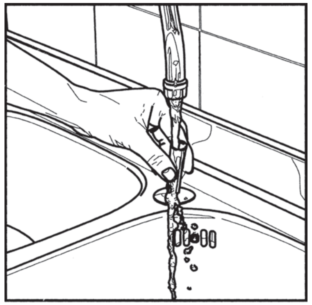


図５

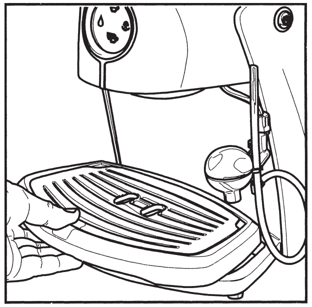


図６

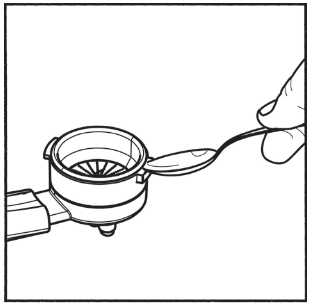


図７

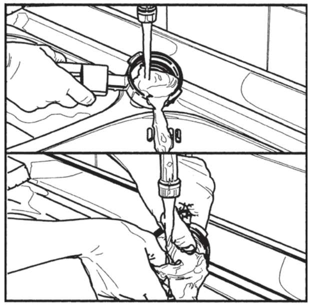


図８

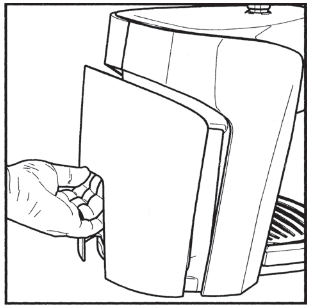


図1

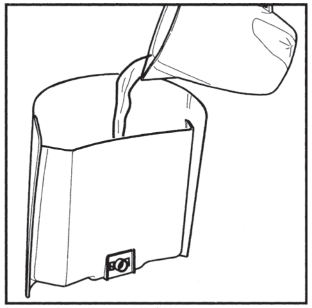


図2

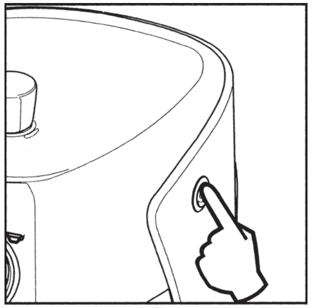


図3

11　除石灰

長時間ご使用されると製品内部に石灰成分が付着します。これを放置するとマシン内部が詰まり故障の原因となりますので、半年に１回、もしくはコーヒー抽出の線が細くなったら必ず行ってください。

i 除石灰剤としてサエコデカルリキッドをお勧めします。マシンの性能やパフォーマンスが向上し、石灰の増強や抽出温度の低下を軽減し、水漏れ、味覚の変化を抑えます。除石灰を始める前に、必ず水タンクの水フィルターを取り外してください。

⚠ 警告！ 除石灰剤として、絶対に酢は使わないでください。

・(図 1) − 水タンクを取り外して、一度空にします。
・(図 2) − 除石灰剤を水タンクに入れます。その上から飲料水を入れてください。(MAX のライン以上に水を入れないでください。) 水タンクを本体にセットします。
(図 3) − 電源ボタン(2)を押して電源を入れます。
・２つのコーヒーボタン(15 - 16)が点灯するまでお持ちください。
・カプチナトーレを取り外します。(項目 9 を参照)
・(図 4) − スチーム・給湯ノズルの下に大きめな容器を置きます。
・(図 5) − スチーム・給湯ノブ(4)を開き、(図 6) 給湯ボタン(17)を押し 20 秒間お湯を出します。
・(図 6) − 20 秒間後、給湯ボタンを(17)を押しお湯出しを止めます。
・(図 3) − 電源ボタン(2)を押し電源を切り 5 分間放置します。
・ここまでの作業を水タンクが空になるまで繰り返し行ってください。
・(図 2) − 水タンクを取り外し、よく洗ってから飲料水を入れて、水タンクを本体にセットしてください。
・(図４) − スチーム・給湯ノズルの下に大きめな容器を置きます。
・(図５) − スチーム・給湯ノブ(4)を開き、給湯ボタン(17)を押し水タンクの水が空になるまで、お湯を出します。

i もし他社製品の除石灰剤を使用される場合は、そのメーカーの指示に従ってください。

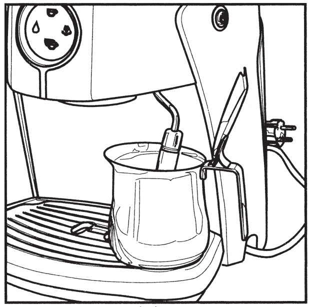


図4

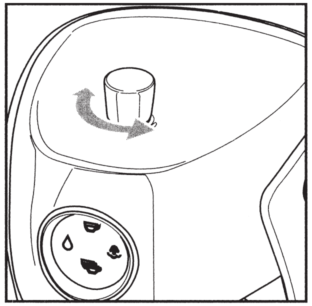


図5

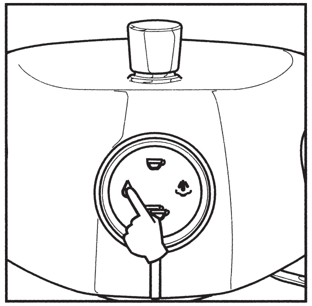


図6

12　廃棄

・今後、製品を使用しない場合は廃棄することをお勧めします。
・電源プラグをソケットから抜いて、電源コードを切断してください。
・製品は適当な廃棄業者に廃棄を依頼してください。

この製品は EU 指令 2002/96/EC に適合しています。

⚠ スチームをご利用の際の注意
スチーム切り替え準備中に、スチーム・給油ノズルやコーヒー抽出口より、マシン内に残っている水滴が出てくることがあります。
これは本製品の特性であり、特に異常ではありません。

⚠ 注意：長時間、電源を入れた状態で放置しないでください。
過熱防止機能が作動し、自動的に電源が切れます。電源が自動的に切れた場合は、すぐに電源は入りません。30 分以上冷ましてから電源を入れ直してください。

症状	原因	改善策
電源が入らない。	製品が電源に接続されていません。	電源プラグを製品に接続してください。
ポンプ(抽出音)が異常にうるさい。	水タンクに水がありません。	水タンクに水を入れてください。(項目4.4)
全てのボタンが点滅している。	空気抜き作業が必要です。	空気抜きを行ってください。(項目4.5)
コーヒーがぬるい	フィルターホルダーが温まっていません。(項目5)	あらかじめフィルターホルダーを温めてください。
	カップが冷えている。	あらかじめカップをお湯で温めてください。
ミルクが泡立てられない。カプチーノの準備ができない。	製品にあったミルクではない。粉末ミルクや低脂肪など。	脂肪分3.6%以上で生乳100%の牛乳をお勧めします。
	カプチナトーレが汚れている。	項目9の記載のとおり、カプチナトーレを洗浄してください。
	製品内部のボイラーにスチームがない。	空気抜き(項目4.5)をし、項目8の操作を繰り返してください。
コーヒー抽出が異常に早い。クレマができない。	フィルターホルダー内のコーヒーが少なすぎる。	粉末コーヒーの量を少し追加してください。
	コーヒーの挽き粗さが粗い。	違うブレンドを試してみてください。挽き粗さが細かすぎるので多少粗くしてください。ポッドコーヒーの種類を変えてみてください。
コーヒーが抽出されない。もしくはポタポタとしか出てこない。	水タンクに水がない。	水タンクに水を補充してください。(項目4.4)
	コーヒーの挽き粗さが細かすぎる。	違うブレンドを試してみてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが固まりすぎている。	粉末コーヒーを詰めなおしてください。タンパーなどで強くタンピングしないでください。計量スプーンの底などで平らにならす程度にしてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが多すぎる。	フィルターホルダー内のコーヒーを減らしてください。
	スチーム・給湯ノブ(4)が開いている。	スチーム・給湯ノブ(4)を閉じてください。
	石灰成分が詰まっている。	マシンの除石灰を行ってください。(項目11)
	フィルターが詰まっている。	フィルターを洗浄してください。(項目10)
	ポッドコーヒーが適切ではない。	ポッドコーヒーの種類を変えてみてください。
コーヒーがフィルターホルダーの縁から漏れる。	フィルターホルダーがきちんと抽出口にはまっていない。	フィルターホルダーを正しく装着してください(項目5)
	フィルターホルダーの上メッシュが汚れている。	フィルターホルダーの縁をきれいに拭いてください。
	ポッドコーヒーがズレてセットされている。	ポッドコーヒーをフィルターホルダーからはみ出すことのないようにし、正しく入れてください。
	フィルター内の粉コーヒーが多すぎる。	粉末コーヒーの量を減らしてください。最大で計量カップすりきり2杯まで、それ以上粉を入れないでください。

上記記載のとおりに行っても解決されなかったり、何か他の問題が起こった場合には、サエコサービスセンター(TEL:050-5525-7025)へご連絡ください。

日本サエコ株式会社

本　　　　　　　　　　社：〒 141-0031 東京都品川区西五反田 2-15-9
ブルーベルビル 2F
TEL.03-5436-7881　FAX.03-5436-7882

サエコサービスセンター：〒 665-0823 兵庫県宝塚市安倉南 2-14
TEL.050-5525-7025　FAX.0797-84-0767
infor.Saecojapan@philips.com　www.saeco.co.jp

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

©2011 Nihon Saeco K.K

2011 04